

自主トレ マニュアル

1. 自主トレとは？

「自主トレ」は、『会計学はじめの一步(第2版)』を利用して勉強される方々をサポートするための補助サイト(練習問題)で、有効利用することで理解を深めることができます。プロ野球でも、キャンプ、オープン戦、レギュラーシーズンに先駆けて、各人が自分に合ったメニューで自由に練習するトレーニングを「自主トレ」と呼んでいますので、それと同じ主旨だと理解してください。つまり、自分のペースで行う自学自習ということです。

2. 内容構成

大学での授業(前期と後期)に合わせて、第1章～第6章までを前半(前期)、第7章～第12章までを後半(後期)とし、全20回を準備してあります(前半11回、後半9回)。第1章～第4章、第7章～第8章および第11章については、内容が多岐にわたることから複数回に分けてあり、各回とも〇日目(第〇章)と最初に表示してあります。また、各自主トレ日は、「午前」と「午後」に分けてあり、午前の自主トレでは基本的に専門用語の穴埋め問題を、午後の自主トレでは論述問題(簿記に関しては仕訳問題)を準備してあります。そして、前半と後半の締めくくりに該当する第11日目(第6章)と最終日(第12章)には、少し考える設問を準備してあります。なお、自主トレなので、解答は準備してありません。

3. 利用方法

利用方法としては、三通りが考えられます。①テキストを読んでから自主トレに取り掛かる方法。②自主トレを先に見ておいて、理解すべき点を確認したうえでテキストを読んでいく方法。③先に自主トレ問題を解いてみて、解けなかったところを認識しながらテキストを読んでいく方法です。特に、「午前」の問題は、理解を深めるために復習問題として利用いただくのが有効と思いますが、制限時間を決めてチャレンジするのも一つの方法です。この穴埋め問題は、その多くが次の設問文章の最初に前の解答が書かれています。ただ、中にはテキストにも書かれていない穴埋めもありましたので、各自で調べてみてください。また、「午後」の問題は、どちらかというが発展問題といえますので、ほかの参考書等を利用しながら、15行から20行程度で小見出しをつけてまとめられるといいでしょう。

以上